

平成29年第10回
総務文教常任委員会

所管事務調査報告

日 時：平成29年10月25日(水)
午前10時00分～

場 所：特別養護老人ホーム「国見の里」

調査内容：保健福祉課所管事務調査

- (1) 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」
及び地域密着型グループホーム「国見の丘」
視察

出席者：総務文教常任委員
傍聴者1人（産業建設常任委員）

国見町議会

松 浦 常 雄 委員長	2
浅 野 富 男 副委員長	3
東 海 林 一 樹 委員	4
八 島 博 正 委員	5
佐 藤 定 男 委員	6
松 浦 和 子 委員	7

平成29年第10回総務文教常任委員会 保健福祉課所管事務調査報告書

平成29年11月6日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦常雄

【調査内容】保健福祉課所管事務調査

- (1) 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」
及び地域密着型グループホーム「国見の丘」視察

所在地：国見町小坂南3番地

- ① 施設の概要の説明・・・ドローンにより上空から撮影した映像を使って説明。
- ② 「国見の杜」及び「国見の丘」の施設の概要説明（配付資料による）
「国見の丘」 グループホーム（地域密着型）
- ③ 構造 和風木造平屋造り（準耐火構造物）
- ④ 敷地面積：国見の杜 5,499.80㎡, 国見の丘 664.86㎡
- ⑤ 入居費用が「国見の杜」が月額約8万7千円～9万5千円程度、
グループホーム「国見の丘」が13万円程度である。

【感想・意見】

- ① 国見町の町民を対象にした特別養護老人ホーム「国見の杜」及び、グループホーム「国見の丘」ができたことは、町民にとって大変喜ばしいことである。
- ② 施設内がとても明るく、清潔である。室内の家具調度品も十分備えてある。
- ③ 入居者が快適に生活できる施設となっている。
- ④ 入浴施設は介護の程度に併せて用具が用意されており、安全面にも十分配慮工夫されている。
- ⑤ 藤田病院との連携も取られており、医療体制にも十分配慮されている。
- ⑥ 災害が発生した場合の避難場所は藤田総合病院と取り決めができています。
- ⑦ 今後の課題：他町からの通勤者が約50名ほどいるので、この施設の近くに、職員用のアパートを建設し、職員の便宜を図ることが望まれる。

以上

平成29年第10回総務文教常任委員会 保健福祉課所管事務調査報告書

平成29年11月7日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 浅野富男

【調査内容】保健福祉課所管事務調査

- (1) 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」
及び地域密着型グループホーム「国見の丘」視察

① 概要

今回は社会福祉法人厚慈会が運営する介護施設の視察である。最初に新装となった「国見の杜」、「国見の丘」とともに施設の航空写真のビデオ上映があり、既設の特別養護老人ホーム「国見の里」とともに施設全体を見渡すことができた。施設はすべて和風木造平屋造りという事で敷地の総面積は25,152.75㎡の広さとなり、全国有数の規模となるとのことである。田園地帯に囲まれた施設であることから景観も良く加えて遠景についても望めて、介護施設としての目的からすれば申し分のない施設となっている。定員は「国見の杜」については4人部屋が7室、「国見の丘」はすべて個室で1ユニット9人の2ユニット、食堂も2室に分かれている。

② 視察

完成したオープン前の施設内を見学させてもらった。最初に気掛かりとなったのが日光の入り具合である。立地条件に左右されることで致し方ないことでもあるが、北側については太陽光の差し込む時間は全くないとの説明であった。しかし健康、衛生を保つうえで欠かせないのが入浴施設であるが、特に機械浴については、技術が進歩する中で寝たままでも入浴できる設備を導入し、介護者の負担を軽くするとともに利用者も快適に入浴ができることは「素晴らしい」の一言に尽きる思いである。

【感想】

特別養護老人ホーム、認知症を主としたグループホームの2施設が増床となったことになるが、地域密着型の介護施設ということで特に本町の方の利用が望めることになったが、介護保険制度との絡みでは政府の方針などを見る限り安穏とできる状況にはない。

以上

平成29年第10回総務文教常任委員会 保健福祉課所管事務調査報告書

平成29年11月8日

国見町議会議長 東海林一樹

【調査内容】保健福祉課所管事務調査

- (1) 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」
及び地域密着型グループホーム「国見の丘」視察

特別養護老人ホーム「国見の里」の隣接地に完成した、地域密着型介護老人福祉施設「国見の杜」と、認知症と診断された患者が対象のグループホームで、これも地域密着型の「国見の丘」の両施設を11月1日の開所式を前にして調査し、担当職員から概要の説明を受けた。

<概要説明>

「国見の杜」は、地域密着型で国見町の住民が対象となる。定員29名で、現在20名の入所が決まっている。まだ9名の枠があるが、どうしても国見の住民で埋まらない場合、他の地域の人を経営上入れなければならなくなるとのことだった。

「国見の丘」は、認知症と診断された人が対象である。定員18名で、現在14名の入所が決まっている。これも国見の杜と同じで、他の地域の人も入れざるを得なくなる場合がある。

【感想】

とにかくきれいで明るい感じの施設である。国見町の住民が対象だとしているのに、両施設とも定員に満たないとは意外な感じがした。待機者がかなりいると聞いていたので、国見の住民にとって非常にありがたい施設であることに間違いはない。

以上

平成29年第10回総務文教常任委員会
保健福祉課所管事務調査報告書

平成29年11月9日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 八島博正

【調査内容】 保健福祉課所管事務調査

- (1) 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」
及び地域密着型グループホーム「国見の丘」視察

特別養護老人ホーム「国見の杜」（29床）およびグループホーム「国見の丘」（18床）の完成により、現地見学会を開催した。

1. 国見の杜

地域密着型特別養老人ホームは、4人部屋が7室、個室1室の計8室があり、計29床である。

現在、職員は13名で、入居希望者が20名内定している。

2. グループホーム国見の丘

地域密着型で、主に認知症の高齢者が中心のホームで、現在職員は12名、入居希望者が14名内定している。

【感想】

現地のホールにて、開設準備室長の三浦健一氏より説明を受けた後、両施設を見学した。

建物は非常に整備され、木造のため温かみのあるもので立派である。

経営的に大変であると思うが、職員も入居者も1日も早く定員になることを望む。

以上

平成29年第10回総務文教常任委員会 保健福祉課所管事務調査報告書

平成29年10月30日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 佐藤定男

【調査内容】保健福祉課所管事務調査

- (1) 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」
及び地域密着型グループホーム「国見の丘」視察

1. 施設長より

- 既設の国見の里に隣接し、ミニ特養施設「国見の杜」と認知症対応としての「国見の丘」が竣工の運びとなった。
両施設とも国見町在住の方が優先して利用できる地域密着型である。
- 既存の施設と合わせると敷地面積は東京ドームの約2倍とのこと。
- 自然環境に恵まれ、最新の設備を備えたこれだけの施設は東北でも有数のものではないかとのこと。

2. 国見の杜 概要（定員29人）

- 居室は4人部屋（7室）1人部屋（1室）で他に共同生活室がある。
- トイレは9か所に設置、浴室は介護浴槽と特殊浴槽がある。
- 入居料金は要介護3～5で月額約9万から9万5千円となっている。

3. 国見の丘 概要（男女各9人 計18人）

- 居室は全て個室（1人部屋）で18室
1ユニット（定員9人）で2ユニットの構造となっている。
- 浴室・トイレの他、食堂や洗濯室も完備され通常の生活に支障はない。
- 料金は介護認定度にもよるが、月額約13万から13万4千円である。

【感想・意見】

- 地域密着型の特養、そしてグループホームが開設されたことは地元町民にとって大きな安心となるであろう。
- 従業員確保や運営の難しい点もあるかと思うが、地元の老人ホームとして高齢者福祉の充実に期待する。

以上

平成29年第10回総務文教常任委員会 保健福祉課所管事務調査報告書

平成29年11月7日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 松浦和子

【調査内容】保健福祉課所管事務調査

(1) 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」 及び地域密着型グループホーム「国見の丘」視察

町の公募により建設された施設は、町内の高齢者を入所対象としている。
11月1日開所の地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」と地域密着型
グループホーム「国見の丘」を内覧会に先立ち視察を行った。

① 地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」

- 29床のミニ特老施設。部屋は4人×7室と1人×1室の8室で開所後に20名の入所者がすでに決まっている。広すぎず、狭すぎず、木の温もりがたっぷりの部屋である。
- 入浴設備も最新の設備が導入されており、介護される側も安心して入浴でき、また職員の身体への負担も軽減できる設備である。
- 食事は国見の里で調理し、配膳台車で運搬、食器も配慮されており、落ち着いて食事ができる配慮に溢れている。
- 部屋名は職員による投票で決まった鳥の名前になっており、職員の優しさが伝わってくる。

② 地域密着型グループホーム「国見の丘」

- 18床のグループホームである。部屋は1人部屋であり、地域密着型特別養護老人ホーム「国見の杜」同様、木の温もり等の配慮が不安なく生活できる仕様になっている。
- 昼の生活が長い入所者には不安なく眠れるように、また、ベッドからの移動も楽なように、床上15cmまで下がるベッドを導入。それでも不安な入所者には畳を敷くことも可能であるとの説明。
- キッチンの流しや調理台の高さが一般家庭の高さと同じで気になった。説明で高いときは台などを置いてとの説明だが、上り下りが危険ではないかと思った。
- 部屋名は「国見の丘」の「丘」にちなみ、西棟をオリオン、東棟をカシオペアと命名。

【感想】

施設は「国見の里」同様、木をふんだんに使い、温かく和みのある施設だった。迎えてくださった職員の表情が優しく眩しく印象的であった。町民を対象に建設された施設は最新の設備を導入しており、高齢者を抱える家族にとって安心してお願いできると思った。また、現在、仕事に従事されている方の最高齢が67歳と伺い、高齢化社会の現実に対応した、元気な高齢者の頑張れる場所を提供していただいていると思った。

以上